



令和6年7月31日

戸田市長 菅原文仁様

戸田市長特別職報酬等審議会
会長 渡辺一実



戸田市議会議員の報酬額等について（答申）

令和6年7月5日付け諮問のあった戸田市議会議員の報酬額等について、下記のとおり答申する。

記

1 答申

審議の結果、戸田市議会議員の報酬額等について、以下のとおりとする結論に達した。

(1) 報酬額

戸田市議会議員の報酬額については、8.7%引上げ、次のとおり改定するものとする。

なお、戸田市議員報酬および議員の費用弁償等に関する条例第1条第1号から第3号まで規定されている議長、副議長及び常任委員長に係る報酬額と議員に係る報酬額との差額については、現行の差額を据え置くものと判断した。

| | | |
|-------|-----|----------|
| 議長 | 報酬額 | 579,000円 |
| 副議長 | 報酬額 | 529,000円 |
| 常任委員長 | 報酬額 | 494,000円 |
| 議員 | 報酬額 | 489,000円 |

(2) 改定時期

改定の実施時期については、令和7年4月1日とすることが適当である。

2 審議経過及び内容

本審議会では、物価上昇等社会経済情勢の推移、他の地方公共団体における議員報酬額や議員による議員活動の比較、本市の市議会議員の活動による成果など、客観的事実に基づき、現行の本市の市議会議員の報酬額が適正であるか慎重に審議を行った結果、上記の結論に達した。

本審議会において、審議された主な意見は次のとおりである。

- ・前回の報酬額の見直しから約30年間据え置かれているにもかかわらず、物価は上昇していることから、実質的な賃下げと同じような状況となっている。これを踏まえ、物価上昇の数値を根拠に報酬額を引き上げるのが妥当と考える。
- ・報酬額の引上げ幅については、近隣の地域との均衡を踏まえ、関東地方の物価上昇率を参考とするのが良いと考える。
- ・報酬額を上げることで、議員のモチベーションアップ等につながるのではないかと考える。ただし、報酬額を引き上げる代わりに、議員定数の削減も併せて検討すべきであると考え
- る。
- ・市民目線で考えると、報酬額の大きな引き上げは避けるべきではないかと考える。
- ・民間の賃金の上げ幅を考えると、相当額引き上げても良いのではないかと考える。
- ・戸田市の財政力の高さ、議会活動の活発さ、先進的な取り組みを行っている実情等を加味し、報酬額を引き上げるべきだと考える。
- ・戸田市の議員活動が他自治体に比べて活発であり、また、その活動が、市民生活やまちづくりへの貢献につながっていることが確認できた。報酬額の引上げ幅については、他自治体に比べて活発な議員活動による市への貢献を加味して良いのではないか。

3 付記

議員報酬の引き上げに伴い税負担が増加すること及び類似団体と比して議員定数が多い状況であることを鑑み、議員報酬の引き上げと併せて、議員定数の削減も含めた適正な議員定数について、市議会において検討すべきとの意見を申し添える。

また、議員報酬が約30年間改定されていなかったことを踏まえ、特別職報酬等審議会について、今後は定期的を開催し、報酬額等について検討すべきとの意見を併せて申し添える。